



バースライトのフロアースタジオ

出産の選択肢の設定

ポジションを考慮する

女性はみな本能的に出産の際、何がベストなのかを知っています。あまりにも頻繁に、産科医療従事者は、女性の生来の強みを見落としがちで、その代わりに医学的な介入をしてしまう事が多いのです。心身一体的（ホリスティック）な助産術の理想は、女性の生来持つ内に秘めた力をしっかりと理解したうえで、女性たちの必要に応じた、品位のあるお産の環境を提供することです。

バースライト(Birth Rite)のフロアスタジオ(Floor Studio)は、簡単な方法で心身一体的（ホリスティック）な助産術を実際に経験できます。そのデザイナー、モニカ・ボエニックは、ヨーロッパとオーストラリアで20年以上の経験を持つ助産婦であり、教育者でもあります。モニカは、産院のベッドが日常的に使用されている事が、心身一体的（ホリスティック）な助産術の普及の大きな障害となっていると考えています。

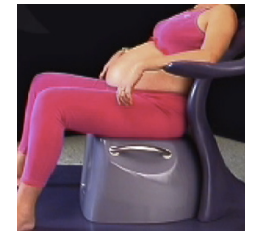


モニカ・ボエニックは
CM, CNS, GDCT



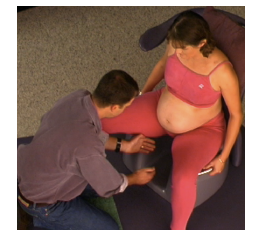
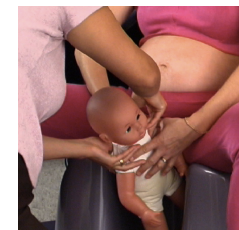
モニカは「心身一体的（ホリスティック）なお産は、出産中の女性だけに働きかけるのではなく、出産にかかわる全ての環境において、新しい取り組みを必要としています。産院のベッドから離れて、魅力的で多目的なお産の椅子(プラットフォーム)に移行する必要があります。」と言っています。フロアスタジオ(Floor Studio)によって、助産婦は、妊婦さんと座った姿勢で相互に関わり合いながらリラックスして産科の安全性を損なうことなく、自信を持って助産術を実践することができます。フロアスタジオ(Floor Studio)のシンプルな外見から、出産プロセスの見通しが立てられ、出産に対して積極的になれるので、カップルが深い絆で結ばれます。

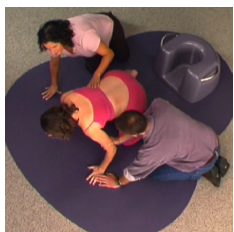
「女性は出産の際、どんな姿勢（ポジション）でも、最適な姿勢（ポジション）で出産に適したお産ができるようにする必要があります。そのようななかで、フロアスタジオに座った姿勢でのお産は、しっかりと姿勢を支えられていることが感じられ、妊婦さんは赤ちゃんが生まれ出てくる時の感覚を最大限、穏やかに感じることができます。」妊婦さんはフロアスタジオに座っていると、背もたれにもたれ掛かることができ、ほとんどの大きな筋肉はリラックスして力を抜いていられます。陣痛は子宮口が開くために起こり、赤ちゃんが降りてくると連動しています。フロアスタジオのようなリラックスさせるための道具を使用すると、お産の際に分泌されるホルモンのオキシトシンやエンドルフィンの分泌を助け、赤ちゃんに必要な酸素が送りやすくなります。これらの効果は、かなり出産時間を短縮する事ができます。そうして女性はこのような条件 —— 起き上がった姿勢で、急がされない雰囲気 —— の中で、自分で思い描いたお産ができるのです。



「助産婦は前向きな気持ちで、妊婦さんと一体となって、簡単な言葉で励まし、リラックスさせることができます。」助産婦は、座位出産の際の助産婦用椅子に座ったままで、出産に必要な器具があるテーブルにも簡単に手が届き、ほとんどの場合、立ち上がることなく、妊婦さんのお世話をしています。これは、妊婦さんが安全に感じて、出産に集中でき、落ち着いて静かな雰囲気を作り出しています。分娩時に、助産婦用の椅子は、助産婦が体を痛める可能性を最小限にするよう、半分座った状態から、半分ひざまずいた姿勢に流れるような動作がとれるようデザインされています。

「妊婦さんがリラックスしていられると、赤ちゃんの頭が会陰を通して出てくる際の抵抗感が少なくなります。リラックスした呼吸は赤ちゃんが出てくるのを助け、会陰裂傷のリスクを少なくし、誕生の瞬間まで、赤ちゃんに必要な酸素を送っています。多くの妊婦さんは、赤ちゃんを分娩する際、徐々に赤ちゃんが降りてくるのが感じられ、分娩後すぐに抱き上げられたのは、とても気分がよかったと、私に語ってくれました。」三面鏡はいろいろな角度に変えることができ、妊婦さんが分娩の過程を見ることができます。フロアスタジオの椅子は会陰裂傷が起こらないよう、適切な傾斜をつけたデザインになっています。フロアスタジオの椅子は、お産をする女性と、立会い出産を希望されるパートナーに最上のサポートを提供します。カップルは出産という機会を共有し、赤ちゃんと一緒に強い絆が生まれることでしょう。





バースライトのフロースタジオはまた、大きな赤ちゃんや、赤ちゃんの肩が引っかかった場合や、硬膜外腔麻酔のあとなど、産科的に問題のある場合でも、子宮口を開き、妊婦さんがいきみに最大の力が入られるようなサポートをします。床にはやわらかいマットがありますので、数秒でそのほかの姿勢に体の位置を変えられます。産科医はしばしば、普通分娩、逆子分娩を促進するためにバースライトの椅子を使用し、満足のいく結果を得られた、と文献に発表しています。

心身一体的（ホリスティック）な助産術

原則

- 助産婦は、物理的、心理的、感情的に妊婦さんの内部の力のすべてと対話し、関わりを持ちます。
- 分娩の際、リラックスしてもらうことは、お産の際とても大事です。
- 可能な限り、座位の姿勢でのお産を尊重します。

経験から

従来の病院でのお産であっても、助産婦の介助によるお産と、産科のお産の融合によって驚くほど簡単に、妊婦さんの望む環境を整えたお産を経験することができます。妊婦さんにお産の過程をコントロールすることを任せる事によって、医者や助産婦たちは、その仕事に大変な満足を得ています。

心身一体的（ホリスティック）な助産術の実践は、産科病院でも取り入れられ、また一般の病院や産院などでの場所だけではなく、特別な経験、体験としてのお産を体験し、味わうことにも反映しています。





BirthRite EUROPA (Head Office)

Binnenfeld 30
D-27432 Ebersdorf
Germany

Phone: +49 4765 444 3622
Fax: +49 4765 444 3624
Cell: +49 162 786 2613

Email: <hebamme@geburtsinsel.de>

BirthRite AUSTRALIA

PO Box 130E
East Devonport TAS 7310
Australia

Mobile: +61 408 314 159

Email: <monika@birthrite.com.au>